

令和2年度

全中道研 会報

No. 4

令和3年2月8日

全日本中学校道德教育研究会

【副会長会（第2回）報告】

事務局長 月田 行俊

令和3年1月30日(土)午前10時より、
オンラインによる副会長会を行いましたので
報告します。

<主な内容>

- 1 会長あいさつ
- 2 情報交換
 - (1) 副会長自己紹介及び各地区・県における近況
 - (2) 令和3年度以降の全国大会及び地区大会の動向について
 - (3) その他
 - ・ 功労者表彰について
 - ・ 道德実践事例集第8集について
 - ・ 上廣倫理財団の助成金について
 - ・ 各地区の会則の集約について
 - ・ 第3回役員・理事会について

1 会長あいさつ骨子

緊急事態宣言がいつ解除されるかという心配と中学校3年の受験期に当たって、様々なことでご苦労されているかと思う。

研究についても、本校、府中第九中学校も、都の指定を受けて行う予定だった発表会も中止となり、延期したとしても参加者を招く形ではできなくなった。

そんな中で、来年度の沖縄大会に向けて模索し、ホームページでどのような活用ができるか研究を重ねているところである。

少しずつ前に進み、コロナ禍での大会が成功できるように、皆さんと協力しながら進めていきたいと思っている。

また本日は、沖縄県の先生方にも参加して

いただいている。沖縄県の実情も聞きながら、沖縄大会、そして山形大会と続くが、コロナの状況がどのようになるか分からないが、進められる形で行えたらと思っている。

2 情報交換

- (1) 自己紹介及び各地区・県における近況
(令和2年度のその後の状況報告があった場合のみ)

【北海道】

1月23日に講師を招いて、講演会を実施した。会場への参加は35名とし、23名にはZoomで同時配信して行った(北海道以外からの参加者もあった)。2月に学会と小中合同で講演会を開催し、学習を深める予定となっている。支部ごとには、授業動画を活用するなどして授業研究をそれぞれが進めている。

【東北】

11月13日に青森県で東北道德教育研究協議会の研究発表会が行われる予定だったが中止となり、残念であった。折しも、青森県内でも大規模なクラスターが発生していた時期でもあったが、青森市内の先生方が、人数を制限してでも研究を進めたいと言うことで、ささやかながら研究会は行った。その授業者の1名については事例集に掲載している。

【関東甲信越】

今年度は、千葉大会を計画していたが中止となった。千葉県の先生からは3月15日に、千葉県のみの研究大会を行うと聞いている。

【東京】

東京は感染拡大が進み、緊急事態宣言の中、2000人を超えることがあったぐらいの猛威の中で、学校の教育活動は制限をもちなが

ら続けている。都中道研もスタートはしたものの、要となっている研究部会が、なかなか予定通り開けない状況である。1月の研修会は中止とし、2月の研究発表大会は、ホームページと冊子で発信しようと思っている。研究会自体が厳しい中ではあるが、コロナ禍でもできることをやろうと、ホームページへのアップに向けて進めている。

【東海北陸】

石川県では、昨年末に研究会・研修会を実施した。4地区の情報交換と課題の共有、今後の方向性について話し合った。課題は、子供たち主体の「考え議論する道徳の授業」について共通理解はしているものの共通実践は難しいことや、評価についても研修が必要であることが認識された。今後、会報や集録を活用して共通理解を図る。

【近畿】

11月13日に予定していたが、大会そのものは中止とした。しかし、これまで研究大会に向けて取り組んできたことを共有したいと考え、研究大会冊子を作成し発表に代えた。また、公開授業を予定していた学校については、これまでの取組を披露する機会を検討し、校内で研究授業を実施し、指導主事や県会長の3名が参加して行った。奈良県では、授業研究会を2学期に予定していたが、昨日に変更して行った。

【四国】

2月19日に2回目の研究発表会を本校で実施する。この発表会も通常の形ではできないため、来週の火曜日に、授業を事前に録画し、それを2月に披露する方法で行う。令和3年度に行う大会の練習も兼ねた取組とする。

【九州・沖縄】

12月に文部科学省の指定を受けている学校がZoomで研究発表を行った。課題等はあるが研究発表や講演会も行えたので、今後、そういったことも考えて、沖縄大会を検討しなければならないと思っている。

(2) 令和3年度以降の全国大会及び地区大会の動向について

① 全国大会

＜令和3年度 沖縄大会＞

1 大会主題

「豊かな心を育む道徳教育（仮）」

2 期 間

令和3年11月11日（木）

～11月30日（火）

3 方 法

全中道研ホームページを活用して実施

4 大会の流れ

(1) 開閉会式

ホームページ上、PDF化して行う。

(2) 公開授業

首里中学校各学年1学級3学級の公開
（録画による）

※ 場合によっては首里中以外も

(3) 課題別分科会

第1分科会「道徳科の指導の工夫」

〔キーワード〕

教材開発と活用、発問の工夫、教材研究
現代的な課題に対応した道徳教育
評価の工夫、体験活動を生かした指導

○提案地区：福岡・熊本（九州）・

東京・四国・北陸東海・関東

第2分科会

「道徳教育を推進する指導体制のあり方」

〔キーワード〕

道徳教育推進教師の役割、校内研修
研究授業の在り方、校内体制
家庭や地域との連携 沖縄（九州）

○提案地区：近畿・大分（九州）・

北海道・中国・東北

※例年、分科会は複数設定されているが、沖縄大会では2分科会とし、各地区からの取組状況を発表していただく。

※発表方法は、PDFは必須、動画は選択とし、質疑応答については、一定期間ホームページ上でできるよう検討している。

提案者は質問の回答をホームページ上で行った上で、その内容を踏まえて助言者が、指導助言の資料を作成し、ホームページ上で公開する。

(4) 大会集録

大会紀要は、ホームページに掲載したもので代替、大会集録は、原則作成し、全中道研理事・顧問・財団等に必ず送付する。

(5) ホームページの member 登録について

member 登録することによって沖縄大会に参加できるようになるため、全中道研事務局が担当する。

5 今後の取組

○2月27日の役員・理事会で第1次案内を提案する予定。

○今後、2ヶ月に1回程度、全中道研事務局と沖縄大会実行委員会とで協議し、詳細を詰めていく。

＜令和4年度 山形大会＞

今年度の研究は思わしくない状況と聞いている。令和4年度に向けて、これまで準備してきたこともあり、コロナの状況で令和3年度にどこまで研究が進むかといったこともあるが、実施に向けて取り組んでいるところである。

全国大会については、令和11年度までは計画されている。12年度以降についてもこれまでの流れでいくと、九州地区、北海道地区が担当することになるで、地区内での調整をお願いしたい。

② 地区大会

【北海道】

令和3年度については伊達市で11月12・13日に行く予定となっている。会場である学校の体育館は200名の入場が可能ということだが、道大会は400～500名が例年集まっている。体育館に入れない参加者についてはGIGAスクール構想の整備を踏まえ教室から参加するなどの工夫をしながら

どんな形にせよ実施するという方向で準備を進めている。昨日、会議を開き業者等の選定も行っている。

令和4年度については、今年度行う予定であった根室中標津大会を延期して実施する予定である。令和5年度については、全国大会を函館市の函館市民会館をメイン会場として開催する予定である。日程の第一候補としては11月1日(水)・2日(木)、第二候補としては、11月9日(木)・10日(金)で検討している。

【東北】

東日本大震災の関係から福島県が東北中道徳研を脱会しているため、令和3年度は研究大会が開催されない年となっている。

令和4年度に関しては、東北大会と兼ねて山形大会を行うため研究を進めているところである。令和5年度については、ローテーションに基づき宮城県で開催する予定である。

【関東甲信越】

令和3年度については、埼玉県幸手市で行う予定となっている。全中道研のホームページに第1次案内をあげている。まだ、不確定な部分はあるが、例年通り進めたいと、今は考えている。

令和4年度については、群馬県沼田市立沼田中学校で行う予定だが、日程は未定である。

【東京】

東京都は区・市の交互に発表会を行っている。今年度は、「社会情勢の急激な変化において、ともによりよく生きる力をはぐくむ道徳教育」というテーマで、多摩市で研究発表を行う予定であったが、最終的に中止とした。

令和3年度は区部で開催し、GIGAスクール構想も視野に入れた研究を考えている。

令和4年度については、市部での開催を考えている。

【東海北陸】

まだ、情報交換ができていない。今後、報告する。

【近 畿】

令和3年度については、京都府・京都市で11月26日（金）に京都市総合教育センターを会場にZoomを使った形で開催する。

令和4年度以降については、滋賀県、兵庫県、和歌山県、大阪府という順で計画している。

【中 国】

令和3年度については、11月19日に山口県で研修会を実施する。開催方法については、通常開催、オンライン開催、ホームページ開催、紙上開催の中から状況に応じて判断し、現在進めている研究を行っていく。なお、大会参加費は取らない予定である。中国ブロックは、開催県が中心となって進めており、他県との調整はしていないため、山口県が中心となって行っている。

【四 国】

今年度中止となった四国大会を、令和3年11月1・2日に高知県で開催する。令和3年度はいかなる形であれ、発表会を実施する。

令和4年度については、愛媛県松山市で開催する予定である。

【九 州】

令和3年度については、九州大会を兼ねた沖縄大会を実施する。

今後の九州大会については、隔年で実施する方向で検討しているところである。そのため、令和4年度は未実施、令和5年度は宮崎県という方向で準備を進めている。

（3）その他

○ 功労者表彰について

12月8日までに理事の皆様を検討したが、不承認という方はいなかった。

27日に、記念品が事務局に納品されたので、表彰状も含め発送作業を行っているところである。各地区には、指定されたところに2月1日には届けられる予定である。

○ 道徳実践事例集第8集について

1月18日に入稿し、昨日第一稿が届きました。業者からのスケジュールでは、3月中旬に各県代表に届く計画となっている。学校数等を鑑み、例年より配布数を増加しているので、各地区で有効に活用していただきたい。各地区の執筆者については、ご多用の中ご対応いただき、大変感謝している。

○ 上廣倫理財団の助成金について

令和2年度については、コロナによる影響から、北海道、関東甲信越、東京、近畿、中国、四国の6ブロックが申請し、東北、東海北陸、九州の3ブロックが申請を見合わせた。

令和3年度は、ぜひ、今年度中から、検討し、計画的に活用することができるようになりたい。特に、地区大会等を開催する際に、来年度の全国大会沖縄大会のような形で実施する場合、大会参加費等をとらない方法で行うため、大会運営費を含め、この助成金を使うことで、若手の育成等にもつながる取組になると思うのでよろしくお願いしたい。

また、正式には2月27日の役員・理事会で依頼するが、今年度の報告書の提出することになるので、準備について周知願いたい。全中道研のホームページに様式があるのでご確認に願いたい。

例年、大会紀要（研究冊子）60部を役員・理事会の際に持参し、各理事に配布していた。

今年度については、大会紀要については、事務局に10部郵送をお願いし、各都道府県の役員・理事の配布については、各地区の判断とする。

○ 各地区の会則の集約について

各都道府県の会則については、第3回役員・理事会の際にお願いするが、各地区の会則というものが作成されているのであれば、それを集約しておきたい。

○ 第3回役員・理事会について

2月に実施を計画している第3回役員・理事会については、現状を鑑みると、東京に集まることは難しいと考える。従って、日程は予定通り2月27日でオンラインによる開催としたい。副会長会や理事会等、当日の流れについては、次のようにしたいと考えている。

「第3回役員・理事会—(案)—」

2月27日(土)の流れ

＜オンラインでの実施＞

10:30～11:15

【 関中道研役員・理事会 】

(副会長・常任理事会・理事会)

- (1) 関中道研 島方会長 挨拶
全中道研 吉田会長 挨拶
- (2) 自己紹介
- (3) 令和2年度の各都県の状況
- (4) 今後の関中道研大会
 - ・令和3年度 埼玉大会
 - ・令和4年度 群馬大会
 - ・令和5年度 栃木大会
 - ・令和6年度 神奈川大会
- (5) 令和3年度組織

11:30～12:00

【 全中道研副会長会 】

- (1) 全中道研 吉田会長 挨拶
- (2) 自己紹介及び各地区の様子
- (3) 理事会・役員会の審議事項の確認

13:00～

【 全中道研役員・理事会 】

※全中道研副会長常任理事の方々は原則参加(関中道研理事の方の参加は任意)

- (1) 開会の言葉(副会長)
- (2) 吉田会長 挨拶
- (3) 来賓紹介(紙面での紹介)
- (4) 来賓挨拶(顧問等)
- (5) 出席者自己紹介
- (6) 議事・報告
 - ①令和2年度事業報告及び決算中間報告
 - ②全中道研高知大会中止に伴う取組報告
 - ③各地区の取組報告
- (7) 全日本中学校道徳教育研究大会の今後の予定

- ・令和3年度 沖縄大会
- ・令和4年度 山形大会
- ・令和5年度 北海道(函館)大会
- ・令和6年度 岐阜大会
- (8) 各地区の令和3年度研究大会の予定
- (9) 道徳実践事例集第8集
- (10) 令和3年度組織
- (11) その他

提案案通り、オンラインで実施する

＜閉会の言葉＞ ～沖縄大会実行委員長～

コロナ禍ということで、毎日、感染者数をチェックしてまだだなという感じで沖縄県はまっているところですが、研究大会に向けて何とかイメージが見えてきた。新しい形になることもきっかけになるのではないかと。前向きにやっていきたいと思っているので、先生方のお力もぜひ借りて、Webでの大会となるが盛り上げていってほしいと思う。

よろしく願いしたい。

事務局より

全中道研副会長会(第2回)の報告を、会報No.4として行いました。

オンラインではあれ、各地区の副会長の皆様と情報を共有できたこと、沖縄大会の開催に向けて、その方向性を確認し、計画が前進したことに感謝申し上げます。

また、令和元年度の第3回役員・理事会を中止にして以降、都道府県の代表の皆様と一度も会うことなく令和2年度を終えることなく、かろうじてオンラインではありますが開催する計画が決まりました。

先行き不透明な社会の中で、それに向き合いながらたくましく生きることのできる子供たちを育てるためにも、withコロナの中でできることを、知恵を出し合って乗り切っていければと思います。